



～思いやりの心と笑顔があふれ、  
一人一人の心の中に「ふるさと入間野小」を育む学校～

狭山市立入間野小学校

学校だより  
令和7年12月号  
☎04-2958-2718



いるまの

<学校教育目標>

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子



## 一年のまとめの時期となりました

校長 宮原 礼典ひろのり

今年全国でインフルエンザが猛威を振るい、本校でも学級・学年閉鎖が相次ぎました。市内全ての学校で閉鎖を経験しています。例年より1ヶ月早い流行ということで、今年は3回インフルエンザの波がくるとも言われています。「1度罹ったから…」と油断せず、手洗いうがいをはじめ、バランスの取れた食事や十分な睡眠、適度な運動等で自分の免疫力を高めていきましょう。

先月は7日に就学時健康診断が行われ、来年の1年生の健康診断を行いました。ここで活躍してくれたのが5年生です。誘導係をはじめ各検診場所での案内や説明、待機時間の読み聞かせなど学校の顔としての最初の活動をとて立派に行いました。来校いただいた保護者の方をはじめ園児達も安心したことでしょう。入間野小学校一同、入学してくる日を心待ちにしております。



12日には4年生が学校の代表として「市民音楽会」に出場しました。広いホール、たくさんの方が見つめる中でもとても落ち着ついており、練習の成果を発揮して堂々と「とんび」と「Hey 和」の歌声をホール一杯響かせました。また、合唱もさることながら鑑賞態度も大変立派でした。

22日は「いるまのスクールフェスタ2025」が開催されました。2年ぶりに土曜日開催ということもあり、大変多くの方にご来校いただき、子供たちもいつも以上に張り切っている様子が伺えました。2学期に入ってからコツコツと準備を進め、運動会で一時中断を挟みながらも縦割り班の仲間と協力してお店作りに励ん



できました。今年は「笑顔をつなげ！1つになる6色の虹」のスローガンのもと、お店を回ったり、お客さんを接待したり、呼び込みをしたりと、とても楽しそうにはじける笑顔で過ごしていました。企画から準備、本番までと、6年生の児童を中心に子供たち主体ですべてを行いました。学年を超えて仲良くなれたことと思います。これは入間野小の自慢の一つです。

他にも今月は「読書月間」でした。お話朝会では「たからばこ」という絵本を紹介しました。実はこの絵本、本校の給食配膳員の玉越さんの作品です。時間の都合上1年生のところまでしか紹介できませんでしたが、図書室にも1冊、また校長室前にも置いてあるので、ぜひ続きを読んでください。保護者の皆様は毎月懇談会で来校される機会もありますので、是非お手にとりいただければと思います。



2026年の干支は「午年（うまどし）」です。馬に「力強さ」「躍動感」「前進」を象徴し、物事が順調に進む年とされています。皆様にとって幸多き一年となることをお祈りいたします。